【シンポジウム24】

コロナ禍におけるスポーツ選手のコンディショニング

山 本 利 春

(国際武道大学体育学部, 国際武道大学大学院)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、スポーツ現場では感染対策を考慮した対応が不可欠となっている。また、緊急事態宣言等による活動制限や外出自粛期間の長期化に伴うパフォーマンスの低下やスポーツ活動再開時における傷害の発生リスクが高まることも懸念される。特にスポーツ選手の競技力向上やスポーツ傷害の予防を目的とした体調管理、運動再開時の配慮、あるいは救急対応など、従来の方法で対応できないことも多い。新しい生活様式に基づく身体接触機会の軽減したりモー

トによる選手の支援方法や段階的な運動再開プログラムの策定など、コロナ禍の中、どのように選手のコンディショニングをすればよいのかは今後のスポーツ医科学領域の重要な課題である。

本シンポジウムでは、トップアスリートチーム、大学スポーツ、地域・医療機関においてスポーツ選手の医科学サポートを実施してきた専門家の方々から、コロナ禍におけるスポーツ選手のコンディション管理について情報提供頂き、その課題について議論したい。